

旅行記録書〔国内学会参加用〕
(実績報告書添付用)

研究課題名	〇〇〇〇に関する研究（採択された主任研究者の研究課題）																							
参加者・所属機関名	国立〇〇研究所△△部 林田 憲三（参加者は主任又は分担研究者のみ）																							
主任研究者名・所属機関名	〇〇大学△△学部 竹山 淳範（参加者が分担研究者の場合に記入）																							
参加目的及び成果（全体）	<p>当該学会参加全体の目的及び成果を総括的に説明すること。 行程中の個別訪問先等の用務概要等については個別欄に記入すること。ただし、訪問先が1カ所である場合は、個別欄の記載を省略することができる。</p>																							
日程 (実績)	出発地	到着地 (宿泊地)	参加学会名 開催地（会場名含む）	訪問目的及び見込まれる成果 (個別欄)																				
9 / 1	東京	高松市 (高松市)	〇〇学会 △△市□□会館	〇〇〇〇に関した当該学会に参加し、本研究の成果を専門家を始めとする参加者に広く提供することができる。																				
9 / 2	高松市	東京																						
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">旅費積算内容内訳</td> <td style="width: 10%;">日 当</td> <td style="width: 20%;">@ 2,600円 × 2日（乙地）</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">=</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">5,200円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>宿泊料</td> <td>@ 11,800円 × 1泊（乙地）</td> <td style="text-align: right;">=</td> <td style="text-align: right;">11,800円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>交通費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">59,920円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">76,920円</td> </tr> </table>					旅費積算内容内訳	日 当	@ 2,600円 × 2日（乙地）	=	5,200円		宿泊料	@ 11,800円 × 1泊（乙地）	=	11,800円		交通費			59,920円		計			76,920円
旅費積算内容内訳	日 当	@ 2,600円 × 2日（乙地）	=	5,200円																				
	宿泊料	@ 11,800円 × 1泊（乙地）	=	11,800円																				
	交通費			59,920円																				
	計			76,920円																				

※到着地と宿泊地が異なる場合は、到着地の下に宿泊地を記入すること。

※旅費積算内訳については、滞在地域により宿泊料及び日当の単価が異なるので別表第28の別紙に定める「旅費に係る単価表」を参考にすること。

※旅費積算内容内訳については、当該研究に係る補助金の管理及び経理を機関の長へ委任する場合は記入を要しない。

※当該研究の研究成果の発表を行うことを開催者が発行するパンフレットによって確認できる場合に限り、補助対象とする場合がある。

厚生労働科学研究費補助金事業年度終了実績報告書

平成____年____月____日

厚生労働大臣
 (国立がんセンター総長)
 (国立精神・神経センター総長)
 (国立医薬品食品衛生研究所長)
 (国立保健医療科学院長)

住 所 〒 _____
 フリガナ _____
 研究者 氏 名 _____ 印 _____
 生年月日 19____年____月____日生

平成____年度厚生労働科学研究費補助金(____研究事業)の事業年度終了実績報告書について

平成____年____月____日第____号をもって交付の決定を受けた標記の事業の平成____年度における実績について、関係書類を添えて報告する。

1. 国庫補助金精算所要額 : 金_____円也 (うち間接経費 _____円)
2. 研究課題名 (課題番号) : _____ (_____)
3. 研究実施期間 (当初) : 平成____年____月____日から平成____年____月____日まで
 (____)年計画の(____)年目
 (変更後) : 平成____年____月____日から平成____年____月____日まで
4. 研究者及び経理事務担当者

研究者	①所属機関 (部局)		②所属機関 所在地	〒 _____
	③連絡先 TEL・FAX ・E-mail		④所属機関に おける職名	
経理事務 担当者	(フリガナ) ⑤氏名		⑥所属部・課名 TEL・FAX ・E-mail	

5. 分担した研究事業の概要

① 研究者名	② 分担した研究項目	③ 研究実施場所 (機関)	④ 研究実施期間	⑤ 配分を受けた 研究費の額 (千円)

7. 経費所要額精算調書

交 付 決 定 の 内 容		年 度 内 遂 行 実 績		翌 年 度 繰 越 額	
(1)総事業費	(2)補助金の交付額	(3)補助金対象経費実支出額	(4)補助金の受入額	(5)事業費	(6)補助金の受入額
円	円	円	円	円	円

作成上の留意事項

1. (1)の額は、研究事業の総事業費を記入すること。
2. (2)の額は、交付決定額を記入すること。
3. (3)の額は、当該年度の補助金対象経費実支出額を記入すること。
4. (4)の額は、当該年度の補助金の受入額を記入すること。
5. (5)の額は、翌年度の研究事業費を記入すること。
6. (6)の額は、翌年度の繰越額を記入すること。
7. その他
 - (1)手書きの場合は、楷書体で記入すること。
 - (2)金額等は、アラビア数字で記入すること。
 - (3)日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。

厚生労働大臣
(国立がんセンター総長) 殿
(国立精神・神経センター総長)
(国立医薬品食品衛生研究所長)
(国立保健医療科学院長)

住 所 〒 _____
フリガナ _____
研究者 氏 名 _____ 印
(所属機関 _____)

平成 ____ 年度厚生労働科学研究費補助金 (_____ 研究事業) に係る研究事業を完了したので次のとおり報告する。

研究課題名 (課題番号) : _____ (_____)

国庫補助金精算所要額 : 金 _____ 円也 (うち間接経費 _____ 円)

1. 厚生労働科学研究費補助金研究報告書表紙 (別添1のとおり)
2. 厚生労働科学研究費補助金研究報告書目次 (別添2のとおり)
3. 厚生労働科学研究費補助金総括研究報告書 (別添3のとおり)
4. 厚生労働科学研究費補助金分担研究報告書 (別添4のとおり)
5. 研究成果の刊行に関する一覧表 (別添5のとおり)
6. 研究成果による特許権等の知的財産権の出願・登録状況
(総括研究報告書、分担研究報告書の中に、書式に従って記入すること。)
7. 健康危険情報
 - ・研究の結果、得られた成果の中で健康危険情報(国民の生命、健康に重大な影響を及ぼす情報として厚生労働省に報告すべきものがある場合や、研究過程において健康危険情報を把握した場合には、国民の生命、健康に重大な影響を及ぼすと考えられる内容と理由を簡潔に記入するとともに、その情報源(研究成果、研究者名、学会発表名、雑誌等の詳細)について記述すること。
 - ・既に厚生労働省に通報した健康危険情報であっても、本研究報告書の提出の時点において健康危険情報に該当すると判断されるものについては記述すること。
 - ・分担研究者、研究協力者の把握した情報・意見等についても主任研究者がとりまとめ、一括して総括研究報告書に記入すること。
 - ・なお、交付基準額等決定通知の添付文書において、健康危険情報を把握した際には、一定の書式で速やかに厚生労働省健康危機管理官まで通報していただくよう協力をお願いしているので、本件とともに留意すること。

(作成上の留意事項)

1. 宛先の欄には、規程第3条第1項の表第10号の右欄に掲げる一般公募型並びに同表第11号の右欄に掲げる一般公募型及び若手育成型については国立がんセンター総長、同表第20号の右欄に掲げる一般公募型及び若手育成型については国立精神・神経センター総長、同表第26号の右欄に掲げる一般公募型については国立医薬品食品衛生研究所長、同表第27号の右欄に掲げる一般公募型並びに同表第28号の右欄に掲げる一般公募型及び若手育成型については国立保健医療科学院長を記載する。
2. 「5. 研究成果の刊行に関する一覧表」に記入した書籍又は雑誌は、その刊行物又は別刷り一部を添付すること。
3. 「1. 厚生労働科学研究費補助金研究報告書表紙」から「5. 研究成果の刊行に関する一覧表」までの報告書等、及び「5. 研究成果の刊行に関する一覧表」に記入した書籍又は雑誌の刊行物又は別刷りは、一括して製本すること。ただし、一冊に製本することが困難な場合は複数の分冊ごとに製本することとし、各々の分冊に表紙を付けるとともに分冊の番号(1/n冊、2/n冊、一等)を表示すること。
4. 研究報告書(当該報告書に含まれる文献等を含む。以下本留意事項において同じ。)は、国立国会図書館及び厚生労働省図書館並びに国立保健医療科学院ホームページにおいて公表されるものであること。
5. 研究者等は当該報告書を提出した時点で、公表について承諾したものとすること。

6. その他

- (1) 手書きの場合は、楷書体で記入すること。
- (2) 氏名は、自署又は記名押印で記入すること。
- (3) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。

別添 1

厚生労働科学研究費補助金研究報告書表紙

(作成上の留意事項)

研究報告書の表紙は、別紙 1 「研究報告書表紙レイアウト」を参考に作成すること。

別添 2

厚生労働科学研究費補助金研究報告書目次

(作成上の留意事項)

研究報告書の目次は、別紙 2 「研究報告書目次レイアウト」を参考に作成すること。

別添 3

厚生労働科学研究費補助金総括研究報告書

(作成上の留意事項)

総括研究報告書は、別紙 3 「研究報告書レイアウト」を参考に作成すること。

別添 4

厚生労働科学研究費補助金分担研究報告書

(作成上の留意事項)

分担研究報告書は、別紙 3 「研究報告書レイアウト」を参考に作成すること。

別添 5

研究成果の刊行に関する一覧表

(作成上の留意事項)

研究成果の刊行に関する一覧表は、別紙 4 「研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト」を参考に作成すること。

別紙 1

研究報告書表紙レイアウト (参考)

厚生労働科学研究費補助金
○○○○○○研究事業
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究
平成○○年度 総括研究報告書
主任研究者 厚生 太郎
平成○○ (○○○○) 年 ○月

作成上の留意事項

分担研究報告書がある場合は、「総括・分担研究報告書」と表記すること。

別紙 2

研究報告書目次レイアウト (参考)

目 次	
I. 総括研究報告	
○○○○○○○○に関する研究	1
厚生太郎	
(資料) ○○○○○○○○○のアンケート調査用紙	
II. 分担研究報告	
1. △△△△△△△△に関する研究	30
厚生一郎	
(資料) 資料名	
2. □□□□□□□□に関する研究	60
厚生二郎	
(資料) 資料名	
3. ▽▽▽▽▽▽▽▽に関する研究	80
厚生三郎	
(資料) 資料名	
4. ◎◎◎◎◎◎◎◎に関する研究	100
厚生四郎	
(資料) 資料名	
5. ◇◇◇◇◇◇◇◇に関する研究	120
厚生五郎	
(資料) 資料名	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	140
IV. 研究成果の刊行物・別刷	150

研究報告書レイアウト (参考)
(具体的かつ詳細に記入すること)

厚生労働科学研究費補助金 (〇〇〇研究事業)
(総括・分担) 研究報告書

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇に関する研究
(主任又は分担) 研究者 厚生 太郎 〇〇〇〇〇病院長

<p style="text-align: center; border: 1px solid black; margin-bottom: 10px;">研究要旨</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 分担研究者氏名・所属機関名及び所属機関における職名 (分担研究報告書の場合は、省略) </div> <p>A. 研究目的 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。</p> <p>B. 研究方法 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。 (倫理面への配慮) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p> <p>C. 研究結果 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。</p> <p>D. 考察 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p>	<p>〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。</p> <p>E. 結論 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。</p> <p>F. 健康危険情報 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)</p> <p>G. 研究発表 1. 論文発表 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 2. 学会発表 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)</p> <p>H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。) 1. 特許取得 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 2. 実用新案登録 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 3. その他 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p>
---	--

作成上の留意事項

1. 「A. 研究目的」について
 - ・厚生労働行政の課題との関連性を含めて記入すること。
2. 「B. 研究方法」について
 - (1) 実施経過が分かるように具体的に記入すること。
 - (2) 「(倫理面への配慮)」には、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解(インフォームド・コンセント)に関わる状況、実験に動物に対する動物愛護上の配慮など、当該研究を行った際に実施した倫理面への配慮の内容及び方法について、具体的に記入すること。倫理面の問題がないと判断した場合には、その旨を記入するとともに必ず理由を明記すること。
なお、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針(平成16年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)、疫学研究に関する倫理指針(平成16年文部科学省・厚生労働省告示第1号)、遺伝子治療臨床研究に関する指針(平成16年文部科学省・厚生労働省告示第2号)、臨床研究に関する倫理指針(平成16年厚生労働省告示第459号)及び申請者が所属する研究機関で定めた倫理規定等を遵守するとともに、あらかじめ当該研究機関の長等の承認、届出、確認等が必要な研究については、研究開始前に所定の手続を行うこと。
3. 「C. 研究結果」について
 - ・当該年度の研究成果が明らかになるように具体的に記入すること。
4. 「F. 健康危険情報」について
 - ・分担研究者や研究協力者の把握した情報・意見等についても主任研究者がとりまとめて総括研究報告書に記入すること。
5. その他
 - (1) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。
 - (2) 文字の大きさは、10～12ポイント程度とする。

別紙4

研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト(参考)

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年

厚生労働大臣
 (国立がんセンター総長) 殿
 (国立精神・神経センター総長)
 (国立医薬品食品衛生研究所長)
 (国立保健科学院長)

住 所 〒 _____
 フリガナ _____
 研究者 氏 名 _____ 印
 (所属機関 _____)

平成 ____ 年度厚生労働科学研究費補助金 (_____ 研究事業) に係る研究事業の平成 ____ 年度における実績について、次のとおり報告する。

研究課題名 (課題番号) : _____ (_____)

国庫補助金精算所要額 : 金 _____ 円也 (うち間接経費 _____ 円)

1. 厚生労働科学研究費補助金研究年度終了報告書表紙 (別添1のとおり)
2. 厚生労働科学研究費補助金研究年度終了報告書目次 (別添2のとおり)
3. 厚生労働科学研究費補助金総括研究年度終了報告書 (別添3のとおり)
4. 厚生労働科学研究費補助金分担研究年度終了報告書 (別添4のとおり)
5. 研究成果の刊行に関する一覧表 (別添5のとおり)
6. 研究成果による特許権等の知的財産権の出願・登録状況
 (総括研究年度終了報告書、分担研究年度終了報告書の中に、書式に従って記入すること。)
7. 健康危険情報
 - ・研究の結果、得られた成果の中で健康危険情報 (国民の生命、健康に重大な影響を及ぼす情報として厚生労働省に報告すべきものがある場合や、研究過程において健康危険情報を把握した場合には、国民の生命、健康に重大な影響を及ぼすと考えられる内容と理由を簡潔に記入するとともに、その情報源 (研究成果、研究者名、学会発表名、雑誌等の詳細) について記述すること。
 - ・既に厚生労働省に通報した健康危険情報であっても、本研究年度終了報告書の提出の時点において健康危険情報に該当すると判断されるものについては記述すること。
 - ・分担研究者、研究協力者の把握した情報・意見等についても主任研究者がとりまとめ、一括して総括研究年度終了報告書に記入すること。
 - ・なお、交付基準額等決定通知の添付文書において、健康危険情報を把握した際には、一定の書式で速やかに厚生労働省健康危機管理官まで通報していただくよう協力をお願いしているので、本件とともに留意すること。

(作成上の留意事項)

1. 宛先の欄には、規程第3条第1項の表第10号の右欄に掲げる一般公募型並びに同表第11号の右欄に掲げる一般公募型及び若手育成型については国立がんセンター総長、同表第20号の右欄に掲げる一般公募型及び若手育成型については国立精神・神経センター総長、同表第26号の右欄に掲げる一般公募型については国立医薬品食品衛生研究所長、同表第27号の右欄に掲げる一般公募型並びに同表第28号の右欄に掲げる一般公募型及び若手育成型については国立保健医療科学院長を記載する。
2. 「5. 研究成果の刊行に関する一覧表」に記入した書籍又は雑誌は、その刊行物又は別刷り一部を添付すること。
3. 「1. 厚生労働科学研究費補助金研究年度終了報告書表紙」から「5. 研究成果の刊行に関する一覧表」までの報告書等、及び「5. 研究成果の刊行に関する一覧表」に記入した書籍又は雑誌の刊行物又は別刷りは、一括して製本すること。ただし、一冊に製本することが困難な場合は複数の分冊ごとに製本することとし、各々の分冊に表紙を付けるとともに分冊の番号 (1/n冊、2/n冊、一等) を表示すること。
4. 研究年度終了報告書 (当該報告書に含まれる文献等を含む。以下本留意事項において同じ。) は、国立国会図書館及び厚生労働省図書館並びに国立保健医療科学院ホームページにおいて公表されるものであること。

5. 研究者等は当該報告書を提出した時点で、公表について承諾したものとする。

6. その他

(1) 手書きの場合は、楷書体で記入すること。

(2) 氏名は、自署又は記名押印で記入すること。

(3) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。

別添 1

厚生労働科学研究費補助金研究年度終了報告書表紙

(作成上の留意事項)

研究年度終了報告書の表紙は、別紙 1 「研究年度終了報告書表紙レイアウト」を参考に作成すること。

別添 2

厚生労働科学研究費補助金研究年度終了報告書目次

(作成上の留意事項)

研究年度終了報告書の目次は、別紙 2 「研究年度終了報告書目次レイアウト」を参考に作成すること。

別添 3

厚生労働科学研究費補助金総括研究年度終了報告書

(作成上の留意事項)

総括研究年度終了報告書は、別紙 3 「研究年度終了報告書レイアウト」を参考に作成すること。

別添 4

厚生労働科学研究費補助金分担研究年度終了報告書

(作成上の留意事項)

分担研究年度終了報告書は、別紙 3 「研究年度終了報告書レイアウト」を参考に作成すること。

別添 5

研究成果の刊行に関する一覧表

(作成上の留意事項)

研究成果の刊行に関する一覧表は、別紙 4 「研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト」を参考に作成すること。

別紙 1

研究年度終了報告書表紙レイアウト (参考)

<p>厚生労働科学研究費補助金</p> <p>○○○○○○研究事業</p> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究</p> <p>平成○○年度 総括研究年度終了報告書</p> <p>主任研究者 厚生 太郎</p> <p>平成○○ (○○○○) 年 ○月</p>
--

作成上の留意事項
分担研究年度終了報告書がある場合は、「総括・分担研究年度終了報告書」と表記すること。

別紙 2

研究年度終了報告書目次レイアウト (参考)

目 次	
I. 総括研究年度終了報告 ○○○○○○○○に関する研究 厚生太郎 (資料) ○○○○○○○○○のアンケート調査用紙	1
II. 分担研究年度終了報告	
1. △△△△△△△△に関する研究 厚生一郎 (資料) 資料名	30
2. □□□□□□□□に関する研究 厚生二郎 (資料) 資料名	60
3. ▽▽▽▽▽▽▽▽に関する研究 厚生三郎 (資料) 資料名	80
4. ◎◎◎◎◎◎◎◎に関する研究 厚生四郎 (資料) 資料名	100
5. ◇◇◇◇◇◇◇◇に関する研究 厚生五郎 (資料) 資料名	120
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	140
IV. 研究成果の刊行物・別刷	150

作成上の留意事項

1. 「A. 研究目的」について
厚生労働行政の課題との関連性を含めて記入すること。
2. 「B. 研究方法」について
 - (1) 実施経過がわかるように具体的に記入すること。
 - (2) 「(倫理面への配慮)」には、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解(インフォームド・コンセント)に関わる状況、実験に動物に対する動物愛護上の配慮など、当該研究を行った際に実施した倫理面への配慮の内容及び方法について、具体的に記入すること。倫理面の問題がないと判断した場合には、その旨を記入するとともに必ず理由を明記すること。
なお、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針(平成16年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)、疫学研究に関する倫理指針(平成16年文部科学省・厚生労働省告示第1号)、遺伝子治療臨床研究に関する指針(平成16年文部科学省・厚生労働省告示第2号)、臨床研究に関する倫理指針(平成16年厚生労働省告示第459号)及び申請者が所属する研究機関で定めた倫理規定等を遵守するとともに、あらかじめ当該研究機関の長等の承認、届出、確認等が必要な研究については、研究開始前に所定の手続を行うこと。
3. 「C. 研究結果」について
・当該年度の研究成果が明らかになるように具体的に記入すること。
4. 「D. 健康危険情報」について
・分担研究者や研究協力者の把握した情報・意見等についても主任研究者がとりまとめて総括研究報告書に記入すること。
5. その他
 - (1) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。
 - (2) 文字の大きさは、10～12ポイント程度とする。

別紙4

研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト(参考)

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年

平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

厚生労働大臣
(国立がんセンター総長) 殿
(国立精神・神経センター総長)
(国立医薬品食品衛生研究所長)
(国立保健医療科学院長)

住 所 _____
フリカ、ナ _____
研究者 氏 名 _____ 印
(所属機関 _____)

平成 ____ 年度から実施した厚生労働科学研究費補助金 (_____ 研究事業) に係る研究事業を完了したので、次のとおり報告する。

研究課題名 (課題番号) : _____ (_____)

国庫補助金精算所要額 : 金 _____ 円也 (※研究期間の総額を記載すること。)
(うち間接経費 _____ 円)

1. 厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書表紙 (別添1のとおり)
2. 厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書目次 (別添2のとおり)
3. 厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書 (別添3のとおり)
4. 研究成果の刊行に関する一覧表 (別添4のとおり)
5. 研究成果による特許権等の知的財産権の出願・登録状況
(総合研究報告書の中に書式に従って記入すること。)

(作成上の留意事項)

1. 宛先の欄には、規程第3条第1項の表第10号の右欄に掲げる一般公募型並びに同表第11号の右欄に掲げる一般公募型及び若手育成型については国立がんセンター総長、同表第20号の右欄に掲げる一般公募型及び若手育成型については国立精神・神経センター総長、同表第26号の右欄に掲げる一般公募型については国立医薬品食品衛生研究所長、同表第27号の右欄に掲げる一般公募型並びに同表第28号の右欄に掲げる一般公募型及び若手育成型については国立保健医療科学院長を記載する。
2. 「4. 研究成果の刊行に関する一覧表」に記入した書籍又は雑誌は、その刊行物又は別刷り一部を添付すること。
3. 「1. 厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書表紙」から「4. 研究成果の刊行に関する一覧表」までの報告書等、及び「4. 研究成果の刊行に関する一覧表」に記入した書籍又は雑誌の刊行物又は別刷りは、一括して製本すること。ただし、一冊に製本することが困難な場合は複数の分冊ごとに製本することとし、各々の分冊に表紙を付けるとともに分冊の番号 (1/n冊、2/n冊、一等) を表示すること (総合報告書のみ一括して製本することとし、総括・分担研究報告書と一緒に製本しないこと。)
4. 総合研究報告書 (当該報告書に含まれる文献等を含む。以下本留意事項において同じ。) は、国立国会図書館及び厚生労働省図書館並びに国立保健医療科学院ホームページにおいて公表されるものであること。
5. 研究者等は当該報告書を提出した時点で、公表について承諾したものとすること。
6. その他
 - (1) 手書きの場合は、楷書体で記入すること。
 - (2) 氏名は、自署又は記名押印で記入すること。
 - (3) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。

別添 1

厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書表紙

(作成上の留意事項)

研究報告書の表紙は、別紙 1 「総合研究報告書表紙レイアウト」を参考に作成すること。

別添 2

厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書目次

(作成上の留意事項)

研究報告書の目次は、別紙 2 「総合研究報告書目次レイアウト」を参考に作成すること。

別添 3

厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書

(作成上の留意事項)

総合研究報告書は、別紙 3 「研究報告書レイアウト」を参考に作成すること。

別添 4

研究成果の刊行に関する一覧表

(作成上の留意事項)

研究成果の刊行に関する一覧表は、別紙 4 「研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト」を参考に作成すること。

別紙 1

総合研究報告書表紙レイアウト（参考）

<p>厚生労働科学研究費補助金</p> <p>○○○○○○研究事業</p> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究</p> <p>平成○○年度～○○年度 総合研究報告書</p> <p>主任研究者 厚生 太郎</p> <p>平成○○（○○○○）年 ○月</p>

別紙 2

総合研究報告書目次レイアウト（参考）

目 次	
I. 総合研究報告	
○○○○○○○○○○に関する研究	----- 1
厚生太郎	
（資料）資料名	
（資料）資料名	
（資料）資料名	
II. 研究成果の刊行に関する一覧表	----- 30
III. 研究成果の刊行物・別刷	----- 40

研究報告書レイアウト (参考)

(具体的かつ詳細に記入すること)

厚生労働科学研究費補助金 (〇〇〇研究事業)
(総合) 研究報告書

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇に関する研究

主任研究者 厚生 太郎 〇〇〇〇〇病院長

研究要旨

分担研究者氏名・所属機関名及び所属機関における職名
(分担研究報告書の場合は、省略)

A. 研究目的
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

B. 研究方法
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。
(倫理面への配慮)
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

C. 研究結果
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

D. 考察
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

E. 結論
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

F. 研究発表
1. 論文発表
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
2. 学会発表
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

G. 知的所有権の取得状況
1. 特許取得
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
2. 実用新案登録
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
3. その他
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

作成上の留意事項

1. 「A. 研究目的」について
厚生労働行政の課題との関連性を含めて記入すること。
2. 「B. 研究方法」について
 - (1) 実施経過が分かるように具体的に記入すること。
 - (2) 「(倫理面への配慮)」には、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解(インフォームド・コンセント)に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮など、当該研究を行った際に実施した倫理面への配慮の内容及び方法について、具体的に記入すること。倫理面の問題がないと判断した場合には、その旨を記入するとともに必ず理由を明記すること。
なお、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針(平成16年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)、疫学研究に関する倫理指針(平成16年文部科学省・厚生労働省告示第1号)、遺伝子治療臨床研究に関する指針(平成16年文部科学省・厚生労働省告示第2号)、臨床研究に関する倫理指針(平成16年厚生労働省告示第459号)及び申請者が所属する研究機関で定めた倫理規定等を遵守するとともに、あらかじめ当該研究機関の長等の承認、届出、確認等が必要な研究については、研究開始前に所定の手続を行うこと。
3. 「C. 研究結果」について
 - ・ 全体の研究成果が明らかになるように具体的に記入すること。
4. その他
 - (1) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。
 - (2) 文字の大きさは、10～12ポイント程度とする。

別紙4

研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト(参考)

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年

様式A-2(1) (臨床研究基盤整備推進研究事業(若手医師・協力者活用に要する研究))

厚生労働科学研究費補助金交付申請書

平成____年____月____日

厚生労働大臣 殿

住 所 〒 _____
 申請者 (主任研究者・分担研究者)
 フリガナ _____
 氏 名 _____ 印
 生年月日 19____年____月____日生

平成____年度厚生労働科学研究費補助金 (臨床研究基盤整備推進研究事業
 (若手医師・協力者活用に要する研究)) 交付申請について

標記について、次により国庫補助金を交付されるよう関係書類を添えて申請する。

1. 申請金額 : 金 _____ 円也
2. 研究課題名 (課題番号) : _____ (若手医師・協力者活用に要する研究) (_____)
3. 研究事業予定期間 : 平成____年____月____日から平成____年____月____日まで
 (_____) 年計画の (_____) 年目
4. 申請者及び経理事務担当者

申請者	①所属機関 (部局)		②所属機関 所在地	〒 _____
	③連絡先 TEL・FAX ・E-mail		④所属機関に おける職名	
	⑤最終卒業学 校・卒業年 次及び学位		⑥専攻科目	
経理事務 担当者	(フリガナ) ⑦氏名		⑧所属部・課名 TEL・FAX ・E-mail	

5. 臨床研究実施チームの組織
 (1) 臨床研究実施チーム (a組)

	①若手医師及び臨 床研究協力者に 対する指導者	②若手医師	③臨床研究協力者
氏 名			
分担する研究項目			
最終卒業学校・卒業年次・学位 及び専攻科目 (②については生 年月日も記入すること。)			

(2) 臨床研究実施チーム (b組)

	①若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者	②若手医師	③臨床研究協力者
氏名			
分担する研究項目			
最終卒業学校・卒業年次・学位及び専攻科目 (②については生年月日も記入すること。)			

(3) 臨床研究実施チーム (c組)

	①若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者	②若手医師	③臨床研究協力者
氏名			
分担する研究項目			
最終卒業学校・卒業年次・学位及び専攻科目 (②については生年月日も記入すること。)			

(4) 臨床研究実施チーム (d組)

	①若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者	②若手医師	③臨床研究協力者
氏名			
分担する研究項目			
最終卒業学校・卒業年次・学位及び専攻科目 (②については生年月日も記入すること。)			

(5) 臨床研究実施チーム (e組)

	①若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者	②若手医師	③臨床研究協力者
氏名			
分担する研究項目			
最終卒業学校・卒業年次・学位及び専攻科目 (②については生年月日も記入すること。)			

8. これまでに行った臨床研究又は治験の実施状況並びに今年度行う臨床研究及び治験の内容

----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----

9. 研究計画・方法及び倫理面への配慮

----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----
倫理面への配慮 ----- -----
遵守すべき研究に関する指針等 (研究の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当する指針等の「□」の枠内に「○」を記入すること(複数の指針等が該当する場合は、それぞれの枠内に「○」を記入すること。))。 <input type="checkbox"/> ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針 <input type="checkbox"/> 疫学研究に関する倫理指針 <input type="checkbox"/> 遺伝子治療臨床研究に関する指針 <input type="checkbox"/> 臨床研究に関する倫理指針 <input type="checkbox"/> その他の指針等(指針等の名称： _____)

作成上の留意事項

1. 「申請者」について
 - (1) (主任研究者・分担研究者)の該当外の項目に抹線を引くこと。
 - (2) 氏名は、自署又は記名押印で記入すること。
 - (3) 住所は、申請者の現住所を記入すること。
2. 「1. 申請金額」について
 - ・ 厚生労働科学研究費補助金取扱規程(平成10年4月厚生省告示第130号。以下「規程」という。)第9条第1項の規定に基づく交付基準額等の決定通知(以下「交付基準額等決定通知」という。)に示された金額の範囲内で記入すること。
3. 「2. 研究課題名」について
 - ・ カッコ内には研究計画初年度の交付基準額等決定通知に示された課題番号を記入すること。
4. 「3. 研究事業予定期間」について
 - ・ 当該事業年度中の研究事業予定期間を記入すること。ただし、研究事業開始日は交付基準額等決定通知受理後の実際に研究を開始する日とすること。
複数年度にわたる研究の場合は、研究期間は、原則として3年を限度とする。なお、複数年度にわたる研究の継続の可否については、毎年度の研究計画書に基づく評価により決定されるものとする。
5. 「4. 申請者及び経理事務担当者」について
 - (1) ①は、申請者が勤務する機関の正式名称を記入すること。
 - (2) ⑥は、申請者が専攻した科目のうち当該研究事業に関係あるものについて記入すること。
 - (3) ⑦の経理事務担当者には、当該研究に係る経理及び連絡等の事務的処理を担当する同一所属機関内の経理事務に卓越した者を置くこと(必ず事務委任を行うこと)。
6. 「5. 臨床研究実施チームの組織」について
 - (1) 臨床研究実施チームは、5組以内の体制で行うこととする。
 - (2) 臨床研究実施チームは、研究機関に所属し、若手医師(最初に雇用される日が含まれる年度の4月1日現在で35歳未満の医師とする。)及び臨床研究協力者(研究機関において臨床研究を実施するチームのメンバーとして、臨床研究の責任医師によって指導・監督され、専門的立場から臨床研究の責任医師及び分担医師の業務に協力する者)の指導者としての資質を有する研究者に対し、必ず若手医師及び臨床研究協力者を1名ずつ記載すること。
 - (3) ①は、研究機関に所属している若手医師及び臨床研究協力者を指導する者について記載すること。
 - (4) ②、③は、研究機関で雇い上げることが可能な若手医師及び臨床研究協力者について記載すること。
7. 「6. 研究の概要」について
 - (1) 「7. 臨床研究又は治験に関する設備状況、倫理審査委員会の開催頻度」から「9. 研究計画・方法及び倫理面への配慮」までの要旨を、実施する臨床研究のデザインを主として、1,000字以内で簡潔に記入すること。
 - (2) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と当該事業年度の計画との関係が分かるように記入すること。
 - (3) 継続申請の場合は、進捗状況が分かるように記入するとともに、変更点があれば明示すること。
(注) 倫理審査委員会は、研究者の所属機関において研究計画の実施の適否等について、倫理的観点とともに科学的観点も含めて審査するものをいう。なお、倫理審査委員会の構成については、以下のとおりとする。
 - ・ 倫理・法律を含む人文・社会科学面の有識者、自然科学面の有識者、一般の立場の者から構成されなければならない。
 - ・ 外部委員会を半数以上置くことが望ましいが、その確保が困難な場合には、少なくとも複数名置かなければならない。
 - ・ 外部委員の半数以上は、人文・社会科学面の有識者又は一般の立場の者でなければならない。
 - ・ 男女両性で構成されなければならない。
8. 「7. 臨床研究又は治験に関する設備状況、倫理審査委員会の開催頻度」について
 - (1) 研究計画書提出時点における、臨床研究又は治験を実施する施設の治験管理室、治験外来、治験コーディネーター等の設置に関する状況を、800字以内で記載すること。
 - (2) 臨床研究を実施する施設における倫理委員会又は治験審査委員会の設置状況及び開催頻度について、最低でも過去5年間の状況を記載すること。また、委員会規約の要約も記載すること。
 - (3) 継続申請の場合は、変更点があれば明示すること。

9. 「8. これまでに行った臨床研究又は治験の実施状況」について
- (1) 当該事業年度中の臨床研究又は治験を実施する施設の名称、対象疾患、使用薬剤、予定症例数等プロトコールを記載する。
 - (2) 継続申請の場合は、本研究事業による前年度までの研究の進捗状況について、当初の計画に比較しつつ、記入すること。
10. 「9. 研究計画・方法及び倫理面への配慮」について
- (1) 研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法を1, 600字以内で記入すること。
 - (2) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係が分かるように記入すること。
 - (3) 「倫理面への配慮」には、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解（インフォームド・コンセント）に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮などを必ず記入すること。倫理面の問題がないと判断した場合には、その旨記入するとともに必ず理由を明記すること。
なお、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針（平成16年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）、疫学研究に関する倫理指針（平成16年文部科学省・厚生労働省告示第1号）、遺伝子治療臨床研究に関する指針（平成16年文部科学省・厚生労働省告示第2号）、臨床研究に関する倫理指針（平成16年厚生労働省告示第459号）及び申請者が所属する研究機関で定めた倫理規定等を遵守するとともに、あらかじめ当該研究機関の長等の承認、届出、確認等が必要な研究については、研究開始前に所定の手続を行うこと。
 - (4) 臨床研究に関して、事前に申請者及び分担研究者の所属機関内の倫理委員会等において倫理面からの審査を受けた場合には、審査内容を必ず添付すること。
 - (5) 継続申請の場合は、変更点があれば明示すること。
 - (6) 研究の内容に照らし、遵守しなければならない研究に関する指針等については、該当する指針等の「□」の枠内に「○」を記入すること（複数の指針等が該当する場合は、それぞれの枠内に「○」を記入すること。）。
11. その他
- (1) 手書きの場合は、楷書体で記入すること。
 - (2) 金額等は、アラビア数字で記入すること。
 - (3) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。

10. 経費所要額調書

(1) 総事業費	円	(2) 寄付金その他の収入額	円	(3) 差引額 ((1)-(2))	円
(4) 補助金対象経費支出予定額		(5) 交付基準額		(6) 選定額 〔(4)と(5)を比較して少ない方の額〕	(7) 補助金所要額 〔(3)と(6)を比較して少ない方の額〕 (千円未満の端数がある場合は、その端数は切り捨てる。)
	円		円		円
(8) 補助対象経費支出予定額内訳					
① 経費区分	金額	① 経費区分	金額	① 経費区分	金額
	(円)		(円)		(円)
合 計					

作成上の留意事項

1. (2) の額は、研究事業に対する指定寄付金を記入すること。
2. (5) の額は、交付基準額等決定通知に示された額を記入すること。
3. 「(8) 補助対象経費支出予定額内訳」の各欄の記入については、様式A-1（記入例1）を参考とすること。
4. (8) ①の「人件費」は、若手医師又は臨床研究協力者を雇用する非常勤職員手当、健康保険、厚生年金保険、労働保険、雇用保険、児童手当拠出金、通勤手当、住居手当とする。
5. (8) ①の「諸謝金」は、研究事業の事務の一部を委嘱された者（分担研究者を除く。）及び研究協力者等に支払う謝金であり、例えば、被験者、試験検査、実態調査等の協力者又は、補助者、研究助手、医師、検査技師、看護師、その他の技術員に対して用務を依頼する際に必要な経費をいうこと。
なお、日々雇用の単純労務に服する者に支払う報酬は、「賃金」とすること。
6. (8) ①の「国内旅費」は、国家公務員等の旅費に関する法律に準ずること。
7. (8) ①の「消耗品費」は、各種事務用紙、文房具、事業用燃料代、事業用・医療用等の消耗器材、薬品類、動物、飼育動物の飼料その他の消耗品の代価及び備品に付随する部品等の代価とすること。
8. (8) ①の「賃金」は、研究計画の遂行に必要な者に対する賃金とすること。
9. (8) ①の「印刷製本費」は、各種文書、諸帳簿、研究報告書、その他資料等の印刷代及び製本代とすること。
10. (8) ①の「通信運搬費」は、郵便料、宅配料、電信電話料、運賃及び荷造料等とすること。
11. (8) ①の「借料及び損料」は、器具機械借料及び損料、会場借料、車両等の借り上げ、駐車料等とすること。
12. (8) ①の「会議費」は、会議用の茶菓子、弁当代等とすること。
13. (8) ①の「雑役務費」は、器具機械等の修繕料、各種保守料、洗濯料、複写料、翻訳料、写真等焼付料、鑑定料、設計料、試験料、加工手数料、送金手数料等及び収入印紙代とすること。
14. その他
 - (1) 手書きの場合は、楷書体で記入すること。
 - (2) 金額等は、アラビア数字で記入すること。
 - (3) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。

承 諾 書

平成____年____月____日

厚生労働大臣 殿

機関名_____

所属機関長 職 名_____

氏 名_____印

平成____年度厚生労働科学研究費補助金の交付を受けて、臨床研究基盤整備推進研究事業（若手医師・協力者活用に要する研究）を実施するために次の者を非常勤職員といたします。

研 究 課 題 名 _____ (若手医師・協力者活用に要する研究)

若手医師

所 属 部 局	氏 名

臨床研究協力者

所 属 部 局	氏 名

作成上の留意事項

1. 所属機関長の印は、職印を使用すること。
2. 研究課題名は、交付申請書と同じ研究課題名により記入すること。
3. 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。

様式A-2(2)

厚生労働科学研究費補助金 経費
事業 変更申請書

平成____年____月____日

厚生労働大臣 殿

住 所 于 _____
申請者 (主任研究者・分担研究者)
フリカ^カナ
氏 名 _____ 印

平成____年度厚生労働科学研究費補助金 (臨床研究基盤整備推進研究 (若手医師・協力者活用
に要する研究)) 経費
事業 変更申請について

平成____年____月____日厚生労働省____第____号をもって交付の決定を受けた 経費
事業 内容

を変更したいので、関係書類を添えて申請する。

1. 今回変更申請金額: 金 _____ 円也
当初交付決定金額: 金 _____ 円也
差引 (追加・減額) 申請額: 金 _____ 円也
2. 研究課題名 (課題番号) : _____ (若手医師・協力者活用に要する研究) (_____)

作成上の留意事項

1. この申請書は、交付申請書の本文を上記のように改めるほか、「3. 研究事業予定期間」から「10. 経費所要額調書」までについては、交付申請書に準じて作成すること
2. 「差引 (追加・減額) 申請額」の () 内の該当外の項目に抹線を引くこと。
3. この申請書には、変更の理由を具体的に記入した変更理由書を添付すること。
4. 各様式の記入事項は、すべて交付申請書に準ずるが、変更部分については、交付決定を受けたときの記入事項を上段 () 書きにより記入すること。
5. 「承諾書」は、新たに追加する者がいる場合のみ添付すること。

厚生労働科学研究費補助金事業実績報告書

平成____年____月____日

厚生労働大臣 殿

住 所 〒 _____
 研究者 (主任研究者・分担研究者)
 フリガナ
 氏 名 _____ 印
 生年月日 19____年____月____日生

平成____年度厚生労働科学研究費補助金 (臨床研究基盤整備推進研究事業 (若手医師・協力者活用に要する研究)) の事業実績報告書について

平成____年____月____日厚生労働省____第____号をもって交付の決定を受けた標記の事業を完了したので、関係書類を添えて報告する。

1. 国庫補助金精算所要額 : 金 _____ 円也
2. 研究課題名 (課題番号) : _____ (若手医師・協力者活用に要する研究) (_____)
3. 研究実施期間 : 平成____年____月____日から平成____年____月____日まで
 (_____) 年計画の (_____) 年目
4. 研究者及び経理事務担当者

研究者	①所属機関 (部局)		②所属機関 所在地	〒 _____
	③連絡先 TEL・FAX ・E-mail		④所属機関に おける職名	
	⑤最終卒業学 校・卒業年 次及び学位		⑥専攻科目	
経理事務 担当者	(フリガナ) ⑦氏名		⑧所属部・課名 TEL・FAX ・E-mail	

5. 臨床研究実施チームの組織
 (1) 臨床研究実施チーム (a組)

	①若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者	②若手医師	③臨床研究協力者
氏名			
分担した研究項目			
研究実施場所 (部局)			

(2) 臨床研究実施チーム (b組)

	①若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者	②若手医師	③臨床研究協力者
氏名			
分担した研究項目			
研究実施場所 (部局)			

(3) 臨床研究実施チーム (c組)

	①若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者	②若手医師	③臨床研究協力者
氏名			
分担した研究項目			
研究実施場所 (部局)			

(4) 臨床研究実施チーム (d組)

	①若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者	②若手医師	③臨床研究協力者
氏名			
分担した研究項目			
研究実施場所 (部局)			

(5) 臨床研究実施チーム (e組)

	①若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者	②若手医師	③臨床研究協力者
氏名			
分担した研究項目			
研究実施場所 (部局)			

作成上の留意事項

1. 各欄の記入については、交付申請書の相当欄のそれに準ずること。なお、経費変更、事業変更等が承認された場合であっても、最初の交付決定の番号を記入すること。
2. 「6. 研究結果の概要」欄について
 - (1) 当該研究の成果及びその利用上の効果等を記入すること。
 - (2) 当該研究の交付申請時における研究の概要との関連が明らかになるように記入すること。
 - (3) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の研究計画と当該事業年度における研究結果との関係が分かるように記入すること。また、最終年度の場合には、研究全体の研究結果を併せて記入すること。
3. 「7. 研究により整備された臨床研究実施体制の今後の活用」欄について
 - ・当該研究の交付申請時における研究の目的との関連が明らかになるように記入すること。
4. 「8. 研究の実施経過」欄は、主要な研究方法、手段等の経過を簡潔に記入すること。
 - (1) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の研究の実施経過と当該研究年度における研究の実施経過との関係が分かるように記入すること。
 - (2) 当該研究の交付申請時における研究計画との関連が明らかになるように記入すること。
 - (3) 実施した臨床研究の対象疾患、使用薬剤、症例数、各症例の担当医師等の詳細を記載すること。
5. その他
 - (1) 手書きの場合は、楷書体で記入すること。
 - (2) 金額等は、アラビア数字で記入すること。
 - (3) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。

9. 経費所要額精算調書

(1) 総事業費	円	(2) 寄付金その他の収入額	円	(3) 差引額 (1)-(2))	円
(4) 補助金対象経費 実支出額	(5) 補助金の交付額	(6) 選定額 〔(4)と(5)を比較して少ない方の額〕	(7) 補助金所要額 〔(3)と(6)を比較して少ない方の額〕 <small>(千円未満の端数がある場合は、その端数は切り捨てる。)</small>	(8) 差引過不足額 (5)-(7)	(9) (7)を超える(4)との差額の出所
円	円	円	円	円	
(10) 補助対象経費実支出額内訳					
① 経費区分	金額	① 経費区分	金額	① 経費区分	金額
	(円)		(円)		(円)
合 計					

作成上の留意事項

- 各欄の記入については、交付申請書の相当欄のそれに準ずることとし、「(10) 補助対象経費実支出額内訳」の「①経費区分」における直接研究費の合計額及び委託費の額については、交付決定を受けたときの額（経費変更が承認された場合は、承認後の額）を上段（ ）書きで記入すること。
- 「(2) 寄付金その他の収入額」の欄の額は、研究事業に対する指定寄付金のほか、研究事業で取得した物品のうち不用となった物品の当該年度における売払代金も含まれること。
- 「(9). (7)を超える(4)との差額の出所」の欄は、差額の負担先（「利息」、「自己資金」等）を記入すること。
- その他
 - 手書きの場合は、楷書体で記入すること。
 - 金額等は、アラビア数字で記入すること。
 - 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。

厚生労働科学研究費補助金事業年度終了実績報告書

平成____年____月____日

厚生労働大臣 殿

住 所 〒 _____
 研究者 (主任研究者・分担研究者)
 フリガナ _____
 氏 名 _____ 印
 生年月日 19____年____月____日生

平成____年度厚生労働科学研究費補助金 (臨床研究基盤整備推進研究事業 (若手医師・協力者活用に要する研究)) の事業年度終了実績報告書について

平成____年____月____日厚生労働省____第____号をもって交付の決定を受けた標記の事業の平成____年度における実績について、関係書類を添えて報告する。

1. 国庫補助金精算所要額 : 金 _____ 円也
2. 研究課題名 (課題番号) : _____ (若手医師・協力者活用に要する研究) (_____)
3. 研究実施期間 (当初) : 平成____年____月____日から平成____年____月____日まで
 (____) 年計画の (____) 年目
 (変更後) : 平成____年____月____日から平成____年____月____日まで
4. 研究者及び経理事務担当者

研究者	①所属機関 (部局)		②所属機関 所在地	〒 _____
	③連絡先 TEL・FAX ・E-mail		④所属機関に おける職名	
経理事務 担当者	(フリガナ) ⑤氏名		⑥所属部・課名 TEL・FAX ・E-mail	

5. 臨床研究実施チームの組織
 (1) 臨床研究実施チーム (a組)

	①若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者	②若手医師	③臨床研究協力者
氏 名			
分担した研究項目			
研究実施場所 (部局)			

(2) 臨床研究実施チーム (b組)

	①若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者	②若手医師	③臨床研究協力者
氏 名			
分担した研究項目			
研究実施場所 (部 局)			

(3) 臨床研究実施チーム (c組)

	①若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者	②若手医師	③臨床研究協力者
氏 名			
分担した研究項目			
研究実施場所 (部 局)			

(4) 臨床研究実施チーム (d組)

	①若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者	②若手医師	③臨床研究協力者
氏 名			
分担した研究項目			
研究実施場所 (部 局)			

(5) 臨床研究実施チーム (e組)

	①若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者	②若手医師	③臨床研究協力者
氏 名			
分担した研究項目			
研究実施場所 (部 局)			

7. 経費所要額精算調書

交 付 決 定 の 内 容		年 度 内 遂 行 実 績		翌 年 度 繰 越 額	
(1) 総事業費	(2) 補助金の交付額	(3) 補助金対象経費実支出額	(4) 補助金の受入額	(5) 事業費	(6) 補助金の受入額
円	円	円	円	円	円

作成上の留意事項

1. (1)の額は、研究事業の総事業費を記入すること。
2. (2)の額は、交付決定額を記入すること。
3. (3)の額は、当該年度の補助金対象経費実支出額を記入すること。
4. (4)の額は、当該年度の補助金の受入額を記入すること。
5. (5)の額は、翌年度の研究事業費を記入すること。
6. (6)の額は、翌年度の繰越額を記入すること。
7. その他
 - (1) 手書きの場合は、楷書体で記入すること。
 - (2) 金額等は、アラビア数字で記入すること。
 - (3) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。

厚生労働科学研究費補助金研究報告書

平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

厚生労働大臣 殿

住 所 _____
研究者 (主任研究者・分担研究者)
フリカナ _____
氏 名 _____ 印
(所属機関 _____)

平成 ____ 年度厚生労働科学研究費補助金 (臨床研究基盤整備推進研究事業 (若手医師・協力者活用に要する研究)) に係る研究事業を完了したので、次のとおり報告する。

研究課題名 (課題番号) : _____ (若手医師・協力者活用に要する研究) (_____)

国庫補助金精算所要額 : 金 _____ 円也

1. 厚生労働科学研究費補助金研究報告書表紙 (別添1のとおり)
2. 厚生労働科学研究費補助金研究報告書目次 (別添2のとおり)
3. 厚生労働科学研究費補助金総括研究報告書 (別添3のとおり)
4. 健康危険情報
 - ・ 研究の結果、得られた成果の中で健康危険情報 (国民の生命、健康に重大な影響を及ぼす情報) として厚生労働省に報告すべきものがある場合や、研究過程において健康危険情報を把握した場合には、国民の生命、健康に重大な影響を及ぼすと考えられる内容と理由を簡潔に記入するとともに、その情報源 (研究成果、研究者名、学会発表名、雑誌等の詳細) について記述すること。
 - ・ 既に厚生労働省に通報した健康危険情報であっても、本研究報告書の提出の時点において健康危険情報に該当すると判断されるものについては記述すること。
 - ・ 若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者、若手医師並びに臨床研究協力者の把握した情報・意見等についても主任研究者がとりまとめ、一括して総括研究報告書に記入すること。
 - ・ なお、交付基準額等決定通知の添付文書において、健康危険情報を把握した際には、一定の書式で速やかに厚生労働省健康危機管理官まで通報していただくよう協力をお願いしているので、本件とともに留意すること。

(作成上の留意事項)

1. 「1. 厚生労働科学研究費補助金研究報告書表紙」から「3. 厚生労働科学研究費補助金総括研究報告書」までは、一括して製本すること。ただし、一冊に製本することが困難な場合は複数の分冊ごとに製本することとし、各々の分冊に表紙を付けるとともに分冊の番号 (1/n冊、2/n冊、一等) を表示すること。
2. 研究報告書 (当該報告書に含まれる文献等を含む。以下本留意事項において同じ。) は、国立国会図書館及び厚生労働省図書館並びに国立保健医療科学院ホームページにおいて公表されるものであること。
3. 研究者等は当該報告書を提出した時点で、公表について承諾したものとすること。
4. その他
 - (1) 手書きの場合は、楷書体で記入すること。
 - (2) 氏名は、自署又は記名押印で記入すること。
 - (3) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。

別添 1

厚生労働科学研究費補助金研究報告書表紙

(作成上の留意事項)

研究報告書の表紙は、別紙 1 「研究報告書表紙レイアウト」を参考に作成すること。

別添 2

厚生労働科学研究費補助金研究報告書目次

(作成上の留意事項)

研究報告書の目次は、別紙 2 「研究報告書目次レイアウト」を参考に作成すること。

別添 3

厚生労働科学研究費補助金総括研究報告書

(作成上の留意事項)

総括研究報告書は、別紙 3 「研究報告書レイアウト」を参考に作成すること。

別紙 1

研究報告書表紙レイアウト (参考)

厚生労働科学研究費補助金
臨床研究基盤整備推進研究事業
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究
(若手医師・協力者活用に必要な研究)
平成○○年度 総括研究報告書
主任又は分担研究者 厚生 太郎
平成○○ (○○○○) 年 ○月

別紙 2

研究報告書目次レイアウト (参考)

目 次

I. 総括研究報告

○○○○○○○○○○に関する研究	-----	1
厚生太郎		
(資料) 資料名		
(資料) 資料名		
(資料) 資料名		

作成上の留意事項

1. 「A. 採択された研究事業での研究概要」について
 - ・ 厚生労働行政の課題との関連性を含めて記入すること。
2. 「B. 採択された研究事業での研究実績」について
 - (1) 実施経過がわかるように具体的に記入すること。
 - (2) 「(倫理面への配慮)」には、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解(インフォームド・コンセント)に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮など、当該研究を行った際に実施した倫理面への配慮の内容及び方法について、具体的に記入すること。倫理面の問題がないと判断した場合には、その旨を記入するとともに必ず理由を明記すること。
なお、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針(平成16年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)、疫学研究に関する倫理指針(平成16年文部科学省・厚生労働省告示第1号)、遺伝子治療臨床研究に関する指針(平成16年文部科学省・厚生労働省告示第2号)、臨床研究に関する倫理指針(平成16年厚生労働省告示第459号)及び申請者が所属する研究機関で定めた倫理規定等を遵守するとともに、あらかじめ当該研究機関の長等の承認、届出、確認等が必要な研究については、研究開始前に所定の手続を行うこと。
3. 「E. その他実施した臨床研究・治験の概要及び実績」について
 - ・ 採択された研究事業以外での臨床研究・治験の概要及び実績を記入すること。
4. その他
 - (1) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。
 - (2) 文字の大きさは、10～12ポイント程度とする。

様式A-2(6)

厚生労働科学研究費補助金研究年度終了報告書

平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

厚生労働大臣 殿

住 所 〒 _____
研究者(主任研究者・分担研究者)
フリガナ _____
氏 名 _____ 印
(所属機関 _____)

平成 ____ 年度厚生労働科学研究費補助金(臨床研究基盤整備推進研究事業(若手医師・協力者活用に要する研究))に係る研究事業の平成 ____ 年度における実績について、次のとおり報告する。

研究課題名(課題番号) : _____ (若手医師・協力者活用に要する研究) (_____)

国庫補助金精算所要額 : 金 _____ 円也

1. 厚生労働科学研究費補助金研究年度終了報告書表紙 (別添1のとおり)
2. 厚生労働科学研究費補助金研究年度終了報告書目次 (別添2のとおり)
3. 厚生労働科学研究費補助金総括研究年度終了報告書 (別添3のとおり)

4. 健康危険情報

- ・ 研究の結果、得られた成果の中で健康危険情報(国民の生命、健康に重大な影響を及ぼす情報)として厚生労働省に報告すべきものがある場合や、研究過程において健康危険情報を把握した場合には、国民の生命、健康に重大な影響を及ぼすと考えられる内容と理由を簡潔に記入するとともに、その情報源(研究成果、研究者名、学会発表名、雑誌等の詳細)について記述すること。
- ・ 既に厚生労働省に通報した健康危険情報であっても、本研究年度終了報告書の提出の時点において健康危険情報に該当すると判断されるものについては記述すること。
- ・ 若手医師及び臨床研究協力者に対する指導者、若手医師並びに臨床研究協力者の把握した情報・意見等についても主任研究者がとりまとめ、一括して総括研究報告書に記入すること。
- ・ なお、交付基準額等決定通知の添付文書において、健康危険情報を把握した際には、一定の書式で速やかに厚生労働省健康危機管理官まで通報していただくよう協力をお願いしているため、本件とともに留意すること。

(作成上の留意事項)

1. 「1. 厚生労働科学研究費補助金研究年度終了報告書表紙」から「3. 厚生労働科学研究費補助金総括研究年度終了報告書」までは、一括して製本すること。ただし、一冊に製本することが困難な場合は複数の分冊ごとに製本することとし、各々の分冊に表紙を付けるとともに分冊の番号(1/n冊、2/n冊、一等)を表示すること。
2. 研究年度終了報告書(当該報告書に含まれる文献等を含む。以下本留意事項において同じ。)は、国立国会図書館及び厚生労働省図書館並びに国立保健医療科学院ホームページにおいて公表されるものであること。
3. 研究者等は当該報告書を提出した時点で、公表について承諾したものとすること。
4. その他
 - (1) 手書きの場合は、楷書体で記入すること。
 - (2) 氏名は、自署又は記名押印で記入すること。
 - (3) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。

別添 1

厚生労働科学研究費補助金研究年度終了報告書表紙

(作成上の留意事項)

研究年度終了報告書の表紙は、別紙 1 「研究年度終了報告書表紙レイアウト」を参考に作成すること。

別添 2

厚生労働科学研究費補助金研究年度終了報告書目次

(作成上の留意事項)

研究年度終了報告書の目次は、別紙 2 「研究年度終了報告書目次レイアウト」を参考に作成すること。

別添 3

厚生労働科学研究費補助金総括研究年度終了報告書

(作成上の留意事項)

総括研究年度終了報告書は、別紙 3 「研究年度終了報告書レイアウト」を参考に作成すること。

別紙 1

研究年度終了報告書表紙レイアウト (参考)

厚生労働科学研究費補助金
臨床研究基盤整備推進研究事業
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇に関する研究 (若手医師・協力者活用に要する研究)
平成〇〇年度 総括研究年度終了報告書
主任又は分担研究者 厚生 太郎
平成〇〇 (〇〇〇〇) 年 〇月

別紙 2

研究年度終了報告書目次レイアウト (参考)

目	次
I. 総括研究年度終了報告	
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇に関する研究	----- 1
厚生太郎	
(資料) 資料名	
(資料) 資料名	
(資料) 資料名	

研究年度終了報告書レイアウト（参考）

（具体的かつ詳細に記入すること）

厚生労働科学研究費補助金（臨床研究基盤整備推進研究事業）
 （総括）研究年度終了報告書

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇に関する研究（若手医師・協力者活用に要する研究）

（主任又は分担）研究者 厚生 太郎 〇〇〇〇〇病院長

研究要旨

A. 採択された研究事業での研究概要

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

B. 採択された研究事業での研究実績

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

（倫理面への配慮）

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

C. 健康危険情報

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

作成上の留意事項

1. 「A. 採択された研究事業での研究概要」について
 - ・ 厚生労働行政の課題との関連性を含めて記入すること。
2. 「B. 採択された研究事業での研究実績」について
 - (1) 当該年度中に終了する研究成果を記入すること。
 - (2) 「(倫理面への配慮)」には、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解(インフォームド・コンセント)に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮など、当該研究を行った際に実施した倫理面への配慮の内容及び方法について、具体的に記入すること。倫理面の問題がないと判断した場合には、その旨を記入するとともに必ず理由を明記すること。
なお、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針(平成16年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)、疫学研究に関する倫理指針(平成16年文部科学省・厚生労働省告示第1号)、遺伝子治療臨床研究に関する指針(平成16年文部科学省・厚生労働省告示第2号)、臨床研究に関する倫理指針(平成16年厚生労働省告示第459号)及び申請者が所属する研究機関で定めた倫理規定等を遵守するとともに、あらかじめ当該研究機関の長等の承認、届出、確認等が必要な研究については、研究開始前に所定の手続を行うこと。
3. その他
 - (1) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。
 - (2) 文字の大きさは、10～12ポイント程度とする。

厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書

平成_____年_____月_____日

厚生労働大臣 殿

住 所 〒
研究者(主任研究者・分担研究者)
フリガナ
氏 名 _____ 印
(所属機関 _____)

平成_____年度から実施した厚生労働科学研究費補助金(臨床研究基盤整備推進研究事業(若手医師・協力者活用に要する研究))に係る研究事業を完了したので、次のとおり報告する。

研究課題名(課題番号) : _____ (若手医師・協力者活用に要する研究) (_____)

国庫補助金精算所要額 : 金 _____ 円也 (※研究期間の総額を記載すること。)

1. 厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書表紙 (別添1のとおり)
2. 厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書目次 (別添2のとおり)
3. 厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書 (別添3のとおり)

(作成上の留意事項)

1. 「1. 厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書表紙」から「3. 厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書」までの報告書は、一括して製本すること。ただし、一冊に製本することが困難な場合は複数の分冊ごとに製本することとし、各々の分冊に表紙を付けるとともに分冊の番号(1/n冊、2/n冊、…等)を表示すること。
2. 総合研究報告書(当該報告書に含まれる文献等を含む。以下本留意事項において同じ。)は、国立国会図書館及び厚生労働省図書館並びに国立保健医療科学院ホームページにおいて公表されるものであること。
3. 研究者等は当該報告書を提出した時点で、公表について承諾したものとすること。
4. その他
 - (1) 手書きの場合は、楷書体で記入すること。
 - (2) 氏名は、自署又は記名押印で記入すること。
 - (3) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。

別添 1

厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書表紙

(作成上の留意事項)

総合研究報告書の表紙は、別紙 1 「総合研究報告書表紙レイアウト」を参考に作成すること。

別添 2

厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書目次

(作成上の留意事項)

総合研究報告書の目次は、別紙 2 「総合研究報告書目次レイアウト」を参考に作成すること。

別添 3

厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書

(作成上の留意事項)

総合研究報告書は、別紙 3 「総合研究報告書レイアウト」を参考に作成すること。

別紙 1

総合研究報告書表紙レイアウト（参考）

厚生労働科学研究費補助金
臨床研究基盤整備推進研究事業
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇に関する研究（若手医師・協力者活用に要する研究）
平成〇〇年度 総合研究報告書
主任又は分担研究者 厚生 太郎
平成〇〇（〇〇〇〇）年 〇月

別紙 2

総合研究報告書目次レイアウト（参考）

目 次	
I. 総合研究報告	
〇〇〇〇〇〇〇〇〇に関する研究	----- 1
厚生太郎	
（資料）資料名	
（資料）資料名	
（資料）資料名	

総合研究報告書レイアウト (参考)

(具体的かつ詳細に記入すること)

厚生労働科学研究費補助金 (臨床研究基盤整備推進研究事業)
(総合) 研究報告書

○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究 (若手医師・協力者活用に要する研究)

(主任又は分担) 研究者 厚生 太郎 ○○○○○病院長

研究要旨

A. 採択された研究事業での研究概要

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

B. 採択された研究事業での研究実績

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。
(倫理面への配慮)
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

C. 考察

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

D. 健康危険情報

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

E. その他実施した臨床研究・治験の概要及び実績

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

作成上の留意事項

1. 「A. 採択された研究事業での研究概要」について
 - ・ 厚生労働行政の課題との関連性を含めて記入すること。
2. 「B. 採択された研究事業での研究実績」について
 - (1) 実施経過がわかるように具体的に記入すること。
 - (2) 「(倫理面への配慮)」には、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解(インフォームド・コンセント)に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮など、当該研究を行った際に実施した倫理面への配慮の内容及び方法について、具体的に記入すること。倫理面の問題がないと判断した場合には、その旨を記入するとともに必ず理由を明記すること。
なお、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針(平成16年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)、疫学研究に関する倫理指針(平成16年文部科学省・厚生労働省告示第1号)、遺伝子治療臨床研究に関する指針(平成16年文部科学省・厚生労働省告示第2号)、臨床研究に関する倫理指針(平成16年厚生労働省告示第459号)及び申請者が所属する研究機関で定めた倫理規定等を遵守するとともに、あらかじめ当該研究機関の長等の承認、届出、確認等が必要な研究については、研究開始前に所定の手続を行うこと。
3. 「E. その他実施した臨床研究・治験の概要及び実績」について
 - ・ 採択された研究事業以外での臨床研究・治験の概要及び実績を記入すること。
4. その他
 - (1) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。
 - (2) 文字の大きさは、10～12ポイント程度とする。

様式A-3 (1) (臨床研究基盤整備推進研究事業)

厚生労働科学研究費補助金交付申請書

平成____年____月____日

厚生労働大臣 殿

住 所 〒 _____
フリガナ
 申請者 氏 名 _____ 印
 生年月日 19____年____月____日生

平成____年度厚生労働科学研究費補助金（臨床研究基盤整備推進研究事業）交付申請について
 標記について、次により国庫補助金を交付されるよう関係書類を添えて申請する。

1. 申請金額 : 金 _____ 円也 (うち間接経費 _____ 円)
2. 研究課題名 (課題番号) : _____ (_____)
3. 研究事業予定期間 : 平成____年____月____日から平成____年____月____日まで
 (_____) 年計画の (_____) 年目
4. 申請者及び経理事務担当者

申請者	①所属機関 (部局)		②所属機関 所在地	〒 _____
	③連絡先 TEL・FAX ・E-mail		④所属機関に おける職名	
	⑤最終卒業学 校・卒業年 次及び学位		⑥専攻科目	
経理事務	(フリガナ) ⑦氏名		⑧所属部・課名 TEL・FAX ・E-mail	⑨事務の委任 の有・無 有 ・ 無

5. 研究組織等
 (1) 研究組織

①研究者名	②分担する研究項目	③最終卒業学校・ 卒業年次・学位 及び専攻科目	④所属機関及び 現在の専門 (研究実施場所)	⑤所属機関に おける職名	⑥研究費配分 予定額 (千円)

9. 研究計画・方法及び倫理面への配慮

倫理面への配慮

遵守すべき研究に係る指針等
(研究の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当する指針等の「□」の枠内に「○」を記入すること(複数の指針等が該当する場合は、それぞれの枠内に「○」を記入すること。))。

ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針 疫学研究に関する倫理指針

遺伝子治療臨床研究に関する指針 臨床研究に関する倫理指針

その他の指針等 (指針等の名称: _____)

作成上の留意事項

1. 本様式A-3は、臨床研究基盤整備推進研究事業の公募課題①「医療機関における臨床研究実施基盤整備研究」専用の様式である。
2. 「申請者」について
 - (1) 氏名は、自署又は記名押印で記入すること。
 - (2) 住所は、申請者の現住所を記入すること。
3. 「1. 申請金額」について
 - ・ 厚生労働科学研究費補助金取扱規程（平成10年厚生省告示第130号。以下「規程」という。）第9条第1項の規定に基づく交付基準額等の決定通知（以下「交付基準額等決定通知」という。）に示された金額の範囲内で記入すること。
4. 「2. 研究課題名」について
 - ・ カッコ内には研究計画初年度の交付基準額等決定通知に示された課題番号を記入すること。
5. 「3. 研究事業予定期間」について
 - ・ 当該事業年度中の研究事業予定期間を記入すること。ただし、研究事業開始日は交付基準額等決定通知受理後の実際に研究を開始する日とすること。
複数年度にわたる研究の場合は、研究期間は、原則として3年を限度とする。なお、複数年度にわたる研究の継続の可否については、毎年度の研究計画書に基づく評価により決定されるものとする。
6. 「4. 申請者及び経理事務担当者」について
 - (1) ①は、申請者が勤務する機関の正式名称を記入すること。
 - (2) ⑥は、申請者が専攻した科目のうち当該研究事業に関係あるものについて記入すること。
 - (3) ⑦の経理事務担当者には、当該研究に係る経理及び連絡等の事務的処理を担当する同一所属機関内の経理事務に卓越した者を置くこと（必ず事務委任を行うこと）。
7. 「5. 研究組織等」について
 - (1) 申請者（主任研究者）及び分担研究者（主任研究者と研究項目を分担して研究を実施する者をいう。）について記入すること（研究協力者（主任研究者の研究計画の遂行に協力する者（分担研究者を除く。）をいう。）については記入する必要はない。）。
 - (2) 分担研究者は、原則として申請者（主任研究者）が所属する機関に所属していること。ただし、人材育成を主とする臨床研究・治験実施体制の整備を進めていく上で所属機関外の者の協力が必要不可欠な場合は、この限りではない。
 - (3) 申請者（主任研究者）は、臨床研究・治験実施体制の整備に当たる者や人材育成対象者（若手医師、薬剤師、看護師、生物統計学者等）への指導的立場としての資質を有する者を分担研究者として選任すること。
 - (4) 人材育成を主とする臨床研究・治験実施体制の整備の一部（データマネジメント業務、専門分野の教育等）を所属機関外の者に依頼する場合、研究期間終了後においても継続的に依頼できる体制を整えることができることを確認したうえで、研究計画を策定すること（研究期間終了後の費用負担、人材確保等の問題を検討の上、実現可能性のあるビジョンが研究計画に明らかにされていること。）。
 - (5) 機関で雇用することが可能な人材育成対象者は、申請者（主任研究者）の機関に所属していることが必須であり、「5（2）人材育成対象者」の欄にすべて記入すること。ただし、現時点で未定の場合はその旨を明記の上、雇用する予定の人材に関する情報（人数、職種等）を可能な限り記入することとするが、その場合においても所属機関の長より非常勤職員であるとの承諾が得られることを前提とする。
8. 「6. 研究の概要」について
 - (1) 「7. 研究の目的、必要性及び期待される成果」から「9. 研究計画・方法及び倫理面への配慮」までの要旨を1,000字以内で簡潔に記入すること。
 - (2) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と当該事業年度の計画との関係が分かるように記入すること。
 - (3) 研究の目的、方法及び期待される効果の流れ図を記入又は添付すること。
 - (4) 継続申請の場合は、進捗状況が分かるように記入するとともに、変更点があれば明示すること。
9. 「7. 研究の目的、必要性及び期待される成果」について
 - (1) 研究の目的及び必要性については、厚生労働行政の課題との関連性を含めて1,000字以内で記入すること。

- (2) 期待される成果については、当該研究によって直接得られる研究結果だけでなく、当該研究を行うことにより、国民、行政あるいは社会に対してどのような貢献（国民の保健・医療・福祉の向上等）ができるのかについても考慮しつつ、研究終了時点（3年後）での期待される成果と中長期的（研究を終了してからおおむね5年後から10年後までの期間）に期待される成果にそれぞれ分けて、臨床研究・治験実施体制の観点から具体的に記載すること。
- (3) 継続申請の場合は、変更点があれば明示すること。
10. 「8. この研究に関連する国内・国外における研究状況及びこの研究の特色・独創的な点」について
- (1) 他の機関ではどのような取組みがなされているのか、どのような課題が残されているのかについて 500字以内で記入すること。また、本研究の特色・独創的な点については所属機関の特徴などを踏まえ、500字以内で記入すること。
- (2) 歴史的経過及び現状が分かるように記入すること。
- (3) 必要に応じて参考文献を示すこと。
11. 「9. 研究計画・方法及び倫理面への配慮」について
- (1) 充足すべき部分の強化など所属機関の特徴を生かした臨床研究実施基盤整備計画及びその実施方法を 1, 500字以内で記入すること。さらに、研究期間終了後に本研究を通じて構築される臨床研究・治験実施体制を継続して拡充させるビジョンについても 500字以内で記入すること。
- なお、本研究は臨床研究及び治験実施のための経費の助成を目的としたものではなく、人材育成を主とした臨床研究・治験実施体制の整備推進を目的とした研究であることに十分留意のうえ研究計画を策定すること。
- (2) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係が分かるように記入すること。
- (3) 「倫理面への配慮」には、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解（インフォームド・コンセント）に関わる状況などを必ず記入すること。倫理面の問題がないと判断した場合には、その旨記入するとともに必ず理由を明記すること。
- なお、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針（平成16年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）、疫学研究に関する倫理指針（平成16年文部科学省・厚生労働省告示第1号）、遺伝子治療臨床研究に関する指針（平成16年文部科学省・厚生労働省告示第2号）、臨床研究に関する倫理指針（平成16年厚生労働省告示第459号）及び申請者が所属する研究機関で定めた倫理規定等を遵守するとともに、あらかじめ当該研究機関の長等の承認、届出、確認等が必要な研究については、研究開始前に所定の手続を行うこと。
- (4) 人を用いた研究を行う際に、事前に申請者の所属施設内の倫理委員会等において倫理面からの審査を受けた場合には、審査内容を必ず添付すること。
- (5) 継続申請の場合は、変更点があれば明示すること。
- (6) 研究の内容に照らし、遵守しなければならない研究に係る指針等については、該当する指針等の「□」の枠内に「○」を記入すること（複数の指針等が該当する場合は、それぞれの枠内に「○」を記入すること）。
12. その他
- (1) 手書きの場合は、楷書体で記入すること。
- (2) 金額等は、アラビア数字で記入すること。
- (3) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。
13. 本研究における用語の定義
- (1) 本研究における「臨床研究」とは、治験審査委員会（又はそれに相当するもの）で承認され、公的資金を得たものに限定する。さらに、公的資金を獲得した際の正式な研究課題名がプロトコール名とは別にある場合、それらについても「申請時研究課題名」として記載すること。
- (2) 本研究における「治験」とは、独立行政法人医薬品医療機器総合機構において治験届が受理されたものを指す。

10. 経費所要額調書

(1) 総事業費	円	(2) 寄付金その他の収入額	円	(3) 差引額 ((1)-(2))	円
(4) 補助金対象経費支出予定額		(5) 交付基準額		(6) 選定額 〔(4)と(5)を比較して少ない方の額〕	(7) 補助金所要額 〔(3)と(6)を比較して少ない方の額〕 <small>(千円未満の端数がある場合には、その端数は切り捨てる。)</small>
	円		円		円
(8) 補助対象経費支出予定額内訳					
① 経費区分	金額	① 経費区分	金額	① 経費区分	金額
	(円)		(円)		(円)
合 計					

備品の内訳（30万円以上の備品を購入する場合に各欄に記入すること。なお、該当がない場合には「備品名」欄に「該当なし」と記入すること。）

備品名	数量	単価	規格	納入予定時期	保管場所